

福井県立奥越特別支援学校 交流及び共同学習通信

# 第13号

福井県立奥越特別支援学校

〒911-0802

福井県勝山市昭和町3丁目1番69号

TEL 0779-88-0050 FAX 0779-88-0511

URL <https://www.okuetsu-sh.ed.jp/>

# あしあと

題字：小学部 5年 松浦 格格

## あしあと発刊にあたって



奥越特別支援学校  
校長 大崎 忠久

はじめに



正月明けの校長室に何枚かの年賀状。その中に見知らぬ差出人からの一枚がありました。文面と記憶を辿ると、奥越に在住するかつての教え子からのものでした。私が本校に赴任していることを何処かで知り、学校宛に送ってくれたようです。その彼はもう三〇代後半でしょうか。

ておらず、親元を離れ寄宿舎での生活を送ることになった彼の姿を見て、小学校まで一緒に育ってきた友達との繋がりを終わらせたくないという保護者の思いで、地元の中学校との交流が始まりました。訪れる度に温かく出迎える相手校の生徒、はにかみながらもその輪に自然に入り込む彼。あの時の情景がよみがえりました。

小学部三年生のKさんとMさんは、居住地校の成器南小学校三年一組のみなさんと交流をしました。二年間はコロナの影響でお便りの交換を繰り返して、今年やっと会うことができました。

## やっと会えたね



小学部 居住地校交流

二回目は、二人の大好きなダンスを二曲踊りました。まずは新聞紙を丸めて棒を作り、カラフルにテープを巻いて、オリジナルの棒を作りました。みんなの中で堂々と笑顔で踊るKさん、いつものように身体を大きく揺らして踊るMさん、踊り方を覚えたいと集中する友達、みんな楽しんでダンスタイムでした。



(松村)

後日、「ダンスが楽しかったよ」や「ダンス、上手だね」というお便りが届くと嬉しうにしています。

### 小学部 学校間交流

「はじめまして」  
と  
「ひやしげん」



小学部高学年の児童が嶺南東特別支援学校と二回、オンラインで学校間交流をしました。七月は自己紹介をしたり、相手校の友達から嶺南地域や学習活動の紹介を聞いたりしました。十一月は本校がホスト役になり、奥越地域や学習活動の紹介をしたり、ビンゴゲームやダンスをしたりして楽しみました。

交流前はどきどきしている様子でしたが、画面越しに顔を合わせ、友達の間を見ながら言葉や表情を交わすことで徐々に緊張が和らいでいきました。二回目の十一月には、本校の子どもたちの発表に対して相手校の友達から質問がたくさん出たり、「久しぶりに会えて嬉しかった」という声がお互いにながたりたりするなど、よりリラックスした雰囲気での積極的な活動を行うことができました。来年度も交流できるようにと考えています。  
(上島)



### 中学部 居住地校交流

大野市開成中学校との交流

中学部一年生のMさんとFさん、三年生のSさんの三名が、開成中学校（主に特別支援学級）の生徒と居住地校交流を三回、行いました。



年間を通して、名刺や手作りのプレゼントを交換したり、ババ抜きやボッチャなどのゲームをしたりするなど、みんなで協力して楽しめる活動を行いました。一回目の交流前

### 居住地校交流総括



には、小学部(校)時代からの顔見知りとはいえ、緊張した様子だった本校生徒の三人でした。しかし、回を重ねるごとに距離が縮まり、お互いに名前を呼び、助け合いながら、楽しく仲を深めました。また、三回目の本校での交流では、「開成中学校のみんなに楽しんでもらいたい！」と言いつつ準備をし、大切な友達をおもてなししていました。  
(柘植・廣瀬)

今年度、小学部十一名、中学部八名が居住地校交流をしました。相手校で交流する直接交流に加え、手紙交換やオンラインなどの間接交流も行いました。コロナウイルスが五類になり、友達と初めてあるいは何回も会うことができた児童生徒が昨年度より増えました。緊張しながら友達とダンスやゲームを楽しんだり協力しながら活動したりするときは笑顔、友達からもらったプレゼントを家族や教師に大事に見せる姿などが印象的でした。オンライン交流では、自己紹介や学校紹介をするなど、目を輝かせて交流する様子が見られました。友達と直接会える嬉しさ、相手を意識しながら活動する楽しさや喜びを感じ、来年度の交流学習を楽しみに待つ様子も見られました。  
(油谷・山岸)

中学部 地域交流

地域販売会および  
老人施設との交流

中学部では、園芸や染め物、縫製の作業学習班で作った製品を地域販売会（高等部と合同で実施）で販売しました。今年度は、生活単元学習で栽培したじゃがいもや大根などの野菜の販売も行い、地域の方々と交流することができました。どの生徒も大変意欲的に販売活動に取り組んでいました。



園芸班では、十一月に大野市の老人施設の方をお招きし、花苗の寄せ植え教室を開催しました。生徒たちは、自分たちが学習してきた寄せ植え作りのやり方を参加してくださった方々に分かりやすく伝えようと頑張っていました。

地域の方々との交流を通して、生徒たちは働く喜びややりがいを感じる事ができたのではないかと思います。  
(平鍋)

中学部 学校間交流

四年ぶりの直接交流  
(勝山北部中学校と)



平成二十九年から続いている勝山北部中学校との学校間交流。今年は四年ぶりに直接顔を合わせた交流が行われました。十月二十七日の五・六時間目に勝山北部中学校一年生三十五名が来校しました。じゃんけん列車ゲームで緊張がほぐれた後、本校の学校祭種目「はしれ！新幹線」のチーム競技に取り組んだり、「よさこいソーラン節」を全員で踊ったりして、一体感を楽しむことができました。競技中は、生徒たちが自然に



おしゃべりをする姿も：振り返りでは、本校生徒は「友達の学校紹介の歌が上手だった」や「ソーラン節の鳴子を持って踊るのが、かっこよかった」、北部中学校生徒は「初めましての友達ばかりなのに話しかけてくれて心が開きやすかった」や「あまり関わる事のない友達だけと一緒に活動できて楽しかった」などの感想を全員の前で発表しました。  
生徒玄関で見送りをした時には、ハイタッチをし、北部中学校のバスが見えなくなるまで手を振って別れを惜しみました。(油谷)

高等部 学校間交流

雪国と南国の交流  
パート2



今年も昨年に引き続き、高等部二年生は、沖縄県立泡瀬特別支援学校とオンラインで学校間交流を行いました。今回は、それぞれの県でおすすめたことを発表しました。

本校は、勝山市のいたるところに設置されている恐竜のモニメントについて発表しました。想像以上の

恐竜の多さに、相手校の生徒たちは驚いていました。泡瀬特別支援学校の生徒たちは、沖縄県のスポーツチームや海について発表しました。福井県とは違う綺麗な海に「行ってみたい」と、生徒達は目を輝かせながら感想を言っていました。知らない土地を知れる貴重な機会になりました。

(宮川・揚原)



高等部 地域交流

作業班 地域販売

高等部では、作業学習の時間に各作業班が製品作りや販売活動に取り組んでいます。ここ数年は感染症対策により、校内で大きな規模の販売活動ができませんでしたが、今年度は感染症に対する社会情勢が大きく変わってきていることから、高等部三年生が総合の作業班による地域販売会を企画しました。



作業班による地域販売会は六月、九月、十二月の三回開催されました。当日は、昭和町の閲覧板やサンプラザ前でのチラシ配りなどで企画を知った地域の方々や保護者の方に来場していただき、本校生徒が作った製品をお買い求めいただきました。多くの方に来場していただき、生徒たちは意欲的に取り組み、活気溢れる地域販売会になりました。

(大久保)